

## 某自治体様内広報誌掲載インタビュー

～五十嵐流～

### 「明るく、楽しく、前向きな 生き方」

株式会社アイル・キャリア  
代表取締役 五十嵐 康雄



#### 「すっきり、シンプルに」

東京生まれの東京育ち。そんな私を感じているのは、東京もずいぶん変わったなということです。人口も建物も公共交通機関も増えて、IT化も進んで本当に便利になってきました。ただ、その反面、色んなことがどんどん複雑になってきたようにも感じています。そんな環境で育ってきたからかも知れませんが、何事も**「すっきり、シンプルに」**というのが、私のポリシーになっています。

#### 就職した当時は・・・

大学卒業後、やる気満々で一部上場の大手旅行会社に入社しました。配属先は、池袋支店。担当職務は、支店長付き庶務係。「一体、何をやるんだろう？」と思っていたら、いわゆる雑用係でした。主な職務は、毎日朝から晩までパンフレットを請求して、それが届いたら梱包をほどいてスタンプを押して、台車に乗せて店頭まで 運んで並べるとい仕事です。店舗が、当時日本で 一番1日の通行量が多い道路の交差点角地にあったので、1日に何回も補充しなければならず、それを一人でやっていました。ちなみに、同期は企画や営業などみんな納まる場所に納まっていて、毎日「なんで自分だけが？」と愚痴ばかりこぼしていました。

**本気で退職しようと考えていたんですが、同期が「悪いな五十嵐。お前にばかりこんなことやらせて。でも、自分たちがパンフレットもってお客さんのところに訪問できるのはお前のおかげだなんだよな。」**と優しい言葉をかけてくれたり、昼休みには、さっさと昼食を済ませて手伝いに来てくれたりして踏み止まらせてくれました。そんな同期の優しさが支えになって、**「仕事は面白くないけど、彼らの役に立っているのなら…」**と思えるようになりました。

そのうち、**この仕事だけで1日終わってる場合じゃないかと、気持ちが切り替わりました。**自分なりに工夫して効率上がるようになると、定時の2時間くらい前には終わってしまうようになりました。そこで、みんなが仕事をしているフロアに行って、先輩が同期に仕事を教えている隣に座って「自分も横で聞いていいですか？」とメモを取りながら、残りの時間を過ごすようになりました。そのうち、上司も「五十嵐、ずいぶん変わったな。仕事の効率も上がってるし、楽しそうにやっているじゃないか。」と認めてくれて、3年目に希望していた部署に異動することができました。数年後、社内でトップセールスマンになりましたが、**最初は嫌々やっていたパンフレットのスタンプ押しが営業の仕事に大変役に立ったんです。**毎日パンフレットを見ていたことが、商品知識の豊富さにつながったのです。

#### 研修嫌いが一転して・・・

今の研修会社を設立したのが10年前です。実は私、元々研修嫌いだったんですが、上司に絶対行ってこいと言われた研修がきっかけで、研修もいいもんだなと思えるようになりました。講師は、当時女性でNo.1と言われていたカリスマ講師でした。**私みたいな研修嫌いの考えをたった1日で変えてしまったのです。**

そのうち、いつか自分もやってみたいなと思うようになりました。ただ、まだ若かったので、講師として契約してくれる会社をみつけることもできず、もう少し経験を積まないといけないなと思い、徐々に、それに近い仕事に転職して10年前に独立しました。

私は、時間の使い方は、命の使い方だと思っています。毎日自分の大切な命を使うんだったら、自分らしい価値を生み出したい、そして仕事を通じて、生き活きと前向きに働く人を増やしていきたいという想いにつながっていきました。

## ストレス発散・

### モチベーションUPするには・・・

よく食べて、よく飲んで、よく動く。週に2回はジムに行って泳いでいます。それとほぼ毎日、朝起きてすぐにストレッチと筋トレをしています。鍛えるというよりは、自分を維持するために継続しています。これらに加えて、**出来るだけ、意識の高い人と一緒にいるように心掛けています。**これで自分のストレスは発散されますね。

モチベーションが下がったときは、自分でコントロールできるところに意識を向けるようにしています。たとえば、無理してでも笑う。運動する。意識の高い人に会ったり、連絡する。楽しいこと、好きなことを楽しむ・・・など。

これらとともに、「一見、いまの自分にとって意味を感じられないことについては、将来、何かの役に立つんじゃないかな。」と、無理やりでも意味付けします。「必ずこれはいつか活きる。」と思うことで、だいたいモチベーションは上がってきますね。

## 尊敬する人は・・・

両親ですね。自分の原点ですから。両親に感謝できれば、周りの人にも感謝できるようになります。自分の原点を大切にできないと自分を粗末にすることにもつながるし、周りの人や物も粗末にすることになると思います。

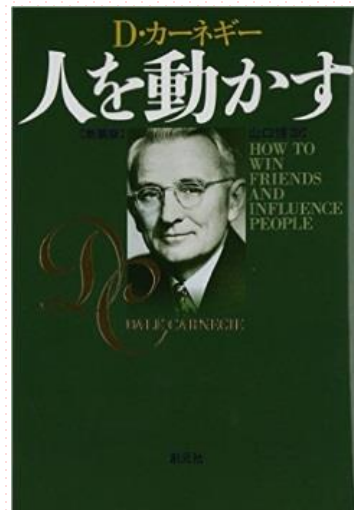
亡くなってからは、父の存在の大きさを一層

感じるようになって、今では毎朝、スマホに入れた父の写真を見て研修に臨んでいます。

ですから **座右の銘は、父が自分に最後に残してくれた言葉「健康第一」と「明るく、楽しく、前向きに！」**です。

## お薦めの本

デール・カーネギーの「人を動かす」はいいですね。●●の皆さまも、仕事上、誰かに動いてもらうってことが多いのではないかと思いますので、そういう意味からも一読の価値はあると思います。



### 【本記事について】

本記事は、お客様からの許可をいただき、弊社ホームページに、掲載しております。そのため、本記事の、無断での転載やご利用についてはご遠慮ください。

株式会社 アイル・キャリア